

アメリカの競争政策—GAF A 規制—

国際学部教授 宮田由紀夫

2021年1月にアメリカで民主党バイデン政権が誕生した。バイデン政権の経済政策については、『経済』（2021年8月号）が「バイデン政権とアメリカ資本主義」を特集しているので参考にしてほしい。本稿ではその中でも反トラスト政策（独占禁止政策）、とくに巨大企業 GAF A (Google-Apple-Facebook-Amazon) への規制の議論を紹介したい。

一般に反トラスト政策では民主党は大企業に厳しく、共和党は企業活動の規制に反対する。リサ・フェランとジョセフ・フォリオ III の「バイデン政権における反トラスト法政策」（『公正取引』2021年8月号）によれば、やはりバイデン政権は反トラスト政策を強化すると考えられる。バイデン政権は GAF A 規制だけでなく、垂直合併（売手と買手の間での合併で共和党はほとんど問題にしない）にも厳しくなるであろうし、大手製薬会社の合併も認められにくくなると考えられる。

上述の『経済』の特集の中の水野里香の「巨大デジタル資本の支配と規制」はアメリカにおいて巨大企業規制は行われてきたが、GAF A は性格が異なると指摘する。GAF A は自社の提供するサービスを通じて膨大な個人情報（ビッグデータ）を収集し、それを他の目的に活かして利益を得る。GAF A は同業他社や取引相手の利益を不当に損ねるが、消費者には無料でサービスを提供し損害を与えていない。従前の独占企業は少なく作って高く売って消費者の利益を損ねていたため批判されたのだが、GAF A は消費者には直接の損害を与えていない。一方、ビッグデータを持つことは個人のプライバシーの侵害につながる懸念もあり GAF A は市場だけでなく社会に対しても支配力を持つ恐れがある。さらに、デジタルビジネスでは利用者がいる国に収益に見合った納税をしていないことも問題である。

土佐和生の「米国における GAF A 規制」（『公正取引』2021年8月号）は GAF A 規制には3つの考え方があると指摘する。第1は保守派で、市場集中は一時的（新しい巨大企業が既存の巨大企業に取って代わる）なので反トラスト政策を強化する必要はないと考える。第2は漸進派で、反トラスト政策の目的は社会的厚生を増大であるとするので、この枠組みで政策の強化・改善を行うべきと主張する。ここで「社会」というのに「消費者」に限定するか、「生産者と消費者」とするかには議論が分かれるとも土佐は指摘している。第3が新ブランドイズ学派である。消費者への影響の視点では無料サービスを提供している GAF A を規制できないので、競争企業・取引相手・労働者など社会全体の利害関係者の利益を考えるべきだとして、GAF A への強い規制を主張する。土佐によれば実際、2018年の中間選挙で民主党が下院で多数派になったので議会では GAF A への規制の議論が活発になり、共和党

議員からも賛同が集まっている。企業寄りのトランプ政権でさえ 2020 年 10 月に司法省が Google を、12 月には連邦取引委員会が Facebook をそれぞれ提訴している。2021 年の議会でも引き続き超党派で GAF A 規制法案を求める動きがある。

消費者保護に関係するが、1914 年の連邦取引委員会法は不公正な競争方法を禁止している。欺瞞的な商取引（虚偽・誇大広告）でその企業が売り上げを伸ばし、同業他社が損失を被ることを禁止した。しかし、1938 年の同法改正で虚偽広告で消費者が損失を受ける場合も規制対象とした。したがって、連邦取引委員会には消費者保護の責務がある。消費者保護の経済学は心理学も取り込む必要があり必ずしも確立されているわけではないが、同委員会はその発展に取り組んでいる。とくにオンライン取引は実物を見ずに商取引が行われるので虚偽広告の問題は重要になる。これらの点を分析したのが高橋真也の「米国連邦取引委員会（FTC）経済局の消費者保護の役割」（『国民生活研究』第 61 巻、第 1 号、2021 年）である。

GAF A に対する批判の中に、GAF A が有望な技術を持つスタートアップ企業を買収してしまい、将来のライバルにならないよう芽を摘んでいることがあげられる。泉克幸の「欧米におけるスタートアップの反競争的買収に対する規律の現況」（『公正取引』2021 年 6 月号）によれば、2014 年の Facebook による Instagram や WhatsApp の買収はその時点では認められたのだが、FTC が 2020 年に改めて提訴した。また、GAF A ではないがデビット決済を支配している Visa による Plaid の買収は司法省からの提訴を受け、取り止めになってことも紹介されている。

好青年だった人物が権力者になると性格が変わるように、GAF A もスタートアップ企業だったのだが、巨大企業になると市場支配力を維持することに腐心するようになった。GAF A 規制は世界的な問題である。注視する必要がある。